

城北



令和4年7月1日現在	
総世帯数	3,784
総人口	7,884
男	3,776
女	4,108



地区を支える
役員の皆さんに

住みよい町づくり協議会



会長
上条 晴康

今年から「住みよい町づくり協議会」の会長になりました。上条晴康です。

この協議会は、城北地区の最大の組織であり、城北地区を動かしている人たちの集合体と言えましょう。総勢約55人であり、メンバーは安全の部会・健康の部会・福祉の部会の3部会に配属されています。協議会の大きな目的は、「城北地区を、誰もが住み慣れた家や地域で安心して暮らし続けることができる地区にする」ことです。(認知症になっても暮らし続けられる地区・顔が見える関係の、絆の深い地区)



安全の部会長
古田 健司

本年度より安全の部会、部長を務めます古田健司です。コロナ禍のため思うように活動できない状態が続きましたが、本年度は、避難所開設の方法を皆さんと考えていこうと思います。

避難所については、開智小学校は中央地区とともに進めています。また深志高校は鼎談深志の枠組みで開設のワークショップが行われていますが、運営委員会の組織等関連する地区と共同で進めていきます。また、要援護者の避難場所は、城北公民館ですが、それだけでは足りないという問題があります。



健康の部会長
窪田 隆彦

健康の部会、部会長の窪田隆彦です。

一言で健康と言っても何となく頭をかしげてしまうので、はなから心身共に、よく言われますね。体の健康は、病気がないこと・食事がおいしくできること・身体が丈夫なこと・ぐっすり眠れること・不安や悩みがないことと言われています。

不安や悩み事があると、ぐっすり眠れず、食生活も乱れ健康な体でなくなってしまう。健康を脅かす因子・それは孤立と言われています。福祉の部会・安全の部会の協力も得て、人と人と繋がる場づくり、本音を話せる場づくりを進め、助け合い、支えあいが自然にできる町づくりを目指したいと思っています。

皆さまのご協力をお願いします。福祉の部会長、三村伊津子です。福祉の部会では、カフェ「すいれん」を平成29年11月、沢村と白金に開店しました。お蔭様で今年の5月10日に100回となり、お祝いの会を開催しました。40人のボランティア育成も含めて、その間の絆づくりが今に繋がっています。お客様・スタッフの居場所である「すいれん」に、皆様も是非お出かけください。また、「いざという時に助け合える城北地区をめざす」をテーマに、地域ケア会議を4回開催しました。信大の井上先生やゼミの学生にも参加していただき、「フレイルや認知症の生きづらさを我が事として考える」事例を基に、個人・グループワークを行い、話し合いをしてきました。

5月10日、沢村町会公民館に80余名の関係者を集め記念の会がひらかれました。平成29年に福祉の部会が「認知症にやさしいまちづくり」を推進するため開設し、令和元年からは三村伊津子さんを中心に立ち上げたボランティアグループ「メイツ」の皆さんが運営にあたり毎月夫々各一回、沢村と白金の公民館で開催してきました。集いは、支援してこられた町会連合会や城北ひろばなど数々の代表者からのユーモア溢れるご挨拶について記念の催しとして奇術などを行い、締めくくりにアコーディオン伴奏に乗ったいつもの大合唱が会場に響き渡りました。お年寄り達の元気の源を創り出してきたボランティアの皆さんに敬意を表するとともに、もつと多くの地域の皆さんに参加を促したいと思いをしました。



▲奇術を楽しむ参加者

